

## 中国医学辞典方劑編の訂正事項

凡例の部 (4) 頁

12行 配列は「 」、'|」、'|」、'|」、'|」⇒配列は「一」、「|」、「ノ」、「\」、「7」

14行 「 」、'|」: 横棒で ⇒ 「一」: 横棒で

18行 「 」、'|」: 曲線で ⇒ 「ノ」: 曲線で

中国歴代の度量衡の変遷についての部

(7) 頁12行 金石薬末を入れる約2gがはいり⇒金石薬末を入れると約2gがはいり

本文

3頁 ㊦2行 培土生全 ⇒ 培土生金。㊦下から6行 患部にふるかける⇒患部にふりかける

16頁 ㊦下から19行 <証治准繩>⇒<証治準繩>。18頁 ㊦2行 <証治准繩>⇒証治準繩

20頁 ㊦2行 自汁⇒自汗

35頁 ㊦下から13行 人参にや⇒人参には

44頁 ㊦下から15行 邪熱のが⇒邪熱が。

45頁 ㊦4行 六一1散⇒六一散

53頁 ㊦22行 黄芩芍药桂枝苦酒汤⇒黄芩芍药桂枝苦酒汤

66頁 ㊦5行 小豆大のものをのものを⇒小豆大のものを。14行 溶かしてけで⇒(けでを削除)

72頁 右24行 言葉を離せなく⇒言葉を話せなく

76頁 右14行 半生、半炒をあわせる⇒半分は生、半分は炒める

80頁 ㊦21行 ありる⇒ある

84頁 ㊦12行 手指の爪は⇒手指の爪や。

88頁 ㊦23行 無名異⇒無名異(軟マンガン鉱石)

91頁 ㊦13行 ゴマのようのような⇒ゴマのような

101頁 ㊦下から3行 gén ⇒gé

103頁 ㊦14行 疼痛などの⇒疼痛などに

109頁 ㊦下から17行 解熱作用もあることも⇒解熱作用もあることが

114頁 ㊦9行 諮輿氣⇒火土丹。10行 hu<sup>^</sup> tū d<sup>^</sup> n⇒huǒ tǔ dan

116頁 ㊦12行 カヒタンセイトウ⇒カヒタンシヨウトウ

119頁 ㊦下から6行 滞していまい⇒滞してしまい

126頁 ㊦1行 加味倉柏散⇒加味蒼柏散。㊦下から11行 疼痛痛⇒疼痛

128頁 右7行 ほどり⇒ほてり

132頁 ㊦下から17行 不足状態なること⇒不足状態になること。

134頁 ㊦下から12行 癥瘕積聚がある⇒癥瘕積聚が重度であるときには、三稜

- 140頁 ㊥5行 重度腸梗阻⇒重い腸梗塞
- 141頁 ㊥下から16行 するつぶす⇒すりつぶす
- 147頁 ㊥下から23行 肝経実火\*症⇒肝経実火\*証
- 151頁 ㊥【気虚】項目の本部中の3箇所 治療などの具体的には⇒具体的な治療などは
- 163頁 ㊥1行 帰芍昇功湯⇒帰芍異功湯
- 162頁 ㊥10行 zhǔ zhú tāng⇒zhǐ zhú tāng ㊥下から9行 yǐ ⇒ji
- 166頁 ㊥下から12行 次のものを服用する。⇒は再度、服用する。
- 167頁 ㊥下から6行 加工されて錠剤⇒加工されて、この名の錠剤
- 169頁 ㊥2行 内発することによるで発症⇒内発することで発症。㊥9行 盛肺⇒清肺
- 171頁～183頁までの「九」ではじまる言葉のフリガナをすべて「ク」にする。【九一丹】。【九黄丹】。【九炆丹】。【九氣拈痛丸】。【九号坎象方】。【九勝散】。【九制香附丸】。【九聖散】。【九制大黄丸】。【九仙散】。【九痛丸】。【九転黄精丹】。【九分散】。【九宝散】。【九味安腎丸】。【九味羌活丸】。【九味羌活湯】。【九味柴胡湯】。【九味資生丸】。【九味湯】。【九味蟠葱散】。【九味蘆薈丸】。【九物五膈丸】。【九龍丸】。【九龍丹】。
- 178頁 ㊥4行 加生姜7片…水より煎じたものを ⇒ 生姜7片…をくわえ、水より煎じたものを
- 179頁 ㊥20行 これら薬湯と……神曲をくわえて⇒これら4種の薬湯と酒・酢・塩水・童便・生姜汁など5種の液体とのそれぞれに9等分にわけた香附を浸す。春は3日間・夏は1日間・秋は3日間・冬は7日間ほど浸しておく。4両の艾（もぐさ）を酒で煮て焙って乾燥させる。浸した9種の香附と艾をあわせて細かく粉末にする。この葉末に酒で煮た神曲を含ませて
- 182頁 ㊥下から12行 津液を消耗する……作用があり⇒津液を消耗するという辛温香燥薬がもつ副作用を防ぐ作用とがあり
- 191頁 ㊥下から16行 くわえが⇒くわえるが
- 198頁 ㊥下から9行 <太個惠民局方>⇒<太平惠民局方>
- 207頁 ㊥下から15行 麻雀腦⇒麻雀腦（スズメの頭）
- 208頁 ㊥5行 ねったもの蓋⇒ねったもので蓋。㊥9行 容器を罐の上縁にのせて…泥で軽く埋める。⇒壺を罐の中に入れて安定させ、蓋をするように罐のくちを泥でうめる。㊥15行 1両の薬量を⇒1両の薬物を
- 210頁 ㊥24行 蘆芸⇒蘆薈
- 228頁 ㊥1行 小便不通を⇒小便不通が
- 243頁 ㊥下から10行 種のが⇒種が
- 247頁 ㊥25行 煎る⇒煎じる
- 248頁 ㊥15行 解毒⇒結毒
- 250頁 ㊥下から12行 冷熱が原因で……夜泣きする⇒冷熱の二証があらわれる小児の無辜疳の治療にもちいる。症状：驚いて熱だし、夜泣きをする
- 255頁 ㊥下から8行 カヒガン⇒ケヒガン

- 257頁 ㊦下から2行 引曾氏から引用した処方⇒曾氏からの引用処方である
- 260頁 ㊦7行 shēng⇒shuāng
- 264頁 ㊦20行 【五陰煎】⇒【五陰煎】22行 五陰煎⇒五陰煎 ㊦23行qián ⇒jian
- 267頁 ㊦下から11行 コウキカイウツ⇒コウキゲウツ
- 279頁 ㊦10行 発疹に⇒発疹の。 ㊦16行 朱砂而⇒朱砂面
- 280頁 ㊦下から12行 朱砂末を鍋に入れ、蓮子大以下の大きさにひろげておく……形が決まったら⇒朱砂末を鍋に入れ、茶盅大（蓮子大以下の大きさのもの）にひろげておく。つぎに火硝粉と白礬粉とを混ぜたもので朱砂の表面を覆う。茶盅（湯のみ茶碗）を逆さまにして蓋をする。茶盅口よりはみだした火硝白礬の粉末は吹き飛ばし、粉末の山の大きさ定める。形が決まったら
- 281頁 ㊦22行 作用⇒機能
- 284頁 ㊦下から14行 この油で⇒この油を
- 300頁 ㊦下から7行 天溶星⇒天南星
- 301頁 ㊦1行 钱⇒钱。2行 qián ⇒jiàn
- 302頁 ㊦20行 瘡中に挿入れたりする。⇒瘡中に挿入したりする。
- 321頁 ㊦17行 炒姜滓⇒姜滓。 ㊦下から11行 1番⇒一晚
- 332頁 ㊦8行 ことが実証…茯苓肝臟湯。（この行を削除する）
- 333頁 ㊦下から15行 ゴロウカン⇒ギョウロウカン
- 339頁 ㊦24行 牛黄にもちいる症状：⇒牛黄にもちいる。症状：
- 341頁 ㊦20行 筋肉を進展⇒筋肉を伸展
- 343頁 ㊦下から19行 chǎi⇒chái
- 345頁 ㊦1行 柴胡枯枝湯⇒柴胡桂枝湯 3行 柴胡枯枝湯⇒柴胡桂枝湯 4行 kū⇒guì
- 349頁 ㊦24行 qōng⇒qīng
- 356頁 右8行 煩燥⇒煩躁
- 360頁 ㊦16行 サンカイサン⇒サンゲサン。下から9行 三花神裕丸⇒三花神佑丸
- 362頁 ㊦1行 （取仁、或用蕪拔代）⇒（種を抜く。蕪拔で代用してもよい）
- 364頁 ㊦下から19行 サンジュウトウ⇒サンタイトウ
- 366頁 ㊦下から22行 サンシヨウチントウ⇒サンシヨウシントウ
- 369頁 ㊦下から10行 寝かる⇒寝かせる
- 375頁 ㊦4行 磁器製の容器にいれ、芫花以外の薬物を……炒めておく。⇒磁器製の容器にいれ、その中に三稜・莪朮をいれる。容器の口を密封し、弱火で蒸し焼きにする。芫花は容器に残った酢で焦げめがつくまで炒める。
- 379頁 ㊦下から6行 4種のわけ別々に炮制する。酒・酢・塩湯・童便など4両ずつに浸す、⇒4等分にして、それぞれを酒・酢・塩湯・童便（各4両）に浸す。
- 382頁 ㊦14行 （銀製品）を削除する

- 389頁 ㊦下から13行 感じなくなった火から⇒感じなくなつたら火から
- 398頁 ㊦下から12行 jīng⇒jiāng
- 410頁 ㊦5行 わけのわからにこと⇒わけのわからないこと
- 413頁 ㊦下から9行 香附1斤を7等分……粉末にしておく ⇒ 香附1斤。初めの炮制は、米のとき汁に一夜つけた後、石上でこすり毛を取り去る。それを晒して干す。2回目は陳酒（古酒）に一夜つけて、晒して干す。3回目は童便で2回目と同様にする。4回目は塩水で同様にする。5回目は牛乳で同様にする。6回目は小扁黒豆の煮汁で同様にする。7回目は茯神6両（去皮去木心）と香附とをあわせて粉末にする。
- 414頁 ㊦13行 風気結聚、宿食……睡眠不良になる時、⇒ 風気結聚、宿食（食積）が解消されない時、あるいは長年にわたり腰脚に疼痛があり、下肢が冷える時、あるいは脚気衝心により、煩憤悶乱、頭旋昏倒、肩背重痛、心腹脹滿、胸膈痞塞などの症状がある時、あるいは風毒脚気で、影響が頭面にまであらわれ、便秘になったり、排尿が渋ったり、脾胃気痞で食事をとれない時、あるいは脚気による痙攣ひきつけがあり、心神恍惚になり睡眠不良になる時、
- 432頁 ㊦1行 <医宗金荃>⇒<医宗金鑑>
- 445頁 ㊦下から3行 施灸は痛み痒みを…痛みを感じない時にもちいる。⇒ 施灸は皮膚が焦げる程度にする。毒がすでに身体を走散して、いたるところが赤色に染まった時には、施灸をして毒を排除する。その時、痛みが痒みにかわり、痒みが痛みにかわるようなら予後はよい。脱疽や発背などの初期で痛みがないものにもちいる。
- 448頁 ㊦下から19行 ジュウヨンケンチュウトウ⇒ジュウヨンミケンチュウトウ
- 451頁 ㊦16行 なお地黄は⇒なお地黄の
- 455頁 ㊦下から14行 各1斤4両沈香・零陵香⇒各1斤4両、沈香・零陵香
- 466頁 ㊦21行 おもゆで湯服用する⇒おもゆで服用する。
- 467頁 ㊦2行 脈微欲絶などが複雑な症状がなる。⇒脈微欲絶などの複雑な症状をあらわす。
- 472頁 ㊦9行 半夏に⇒半夏は
- 474頁 ㊦17行 篩で…葉汁を⇒篩にかけ、あつめた葉粒を
- 478頁 ㊦下から14行 細粗にした…丸薬にする。⇒細末にしたものに甘草煎湯を含ませて丸薬にする。
- 483頁 ㊦18行 <丹漢心法>⇒<丹溪心法>
- 488頁 ㊦24行 細かく粉末にしたものを…銅器中に入れ、⇒細かく粉末にしたものと陳米酢3升とを銅器中に入れる。 ㊦18行 これらの他に…女勞疸である。⇒この他に、水気病のように腹部が脹大する、大便が黒くなる、時々、泄瀉などの症状をあらわす女勞疸もある。
- 490頁 ㊦下から22行 ショウタンイン⇒ショウタントウ。 ㊦10行 飲子⇒餅子。㊦11行 yīn zi ⇒bǐng zi
- 500頁 ㊦11行 ショウフウヒャクカイサン⇒ショウフウヒャクゲサン

- 503頁 ㊦19行 <射后方>⇒<肘后方>
- 504頁 ㊦下から17行 升麻消毒湯⇒升麻散毒湯。㊦下から16行 xiāo dú tāng⇒sàn dú tāng
- 514頁 ㊦14行 jīn⇒jīn
- 522頁 ㊦下から10行 力がなくなり…証である。⇒力のなくなり、子供をつくれなくなる時にみられる証である。
- 523頁 ㊦15行 シンインシシトウ⇒セイインシシトウ。㊦下から19行 シンインジュンソウトウ⇒セイインジュンソウトウ。㊦9行 シンインフクミヤクトウ⇒セイインフクミヤクトウ。㊦24行 シンインヨウエイトウ⇒セイインヨウエイトウ。㊦下から12行 シンインリョウカクサン⇒セイインリョウカクサン
- 536頁 ㊦19行 黄柏湯⇒黄芩湯。㊦20行 huáng bò tāng⇒huáng qí tāng。㊦33行 (熱の為に⇒熱があるのに。
- 541頁 ㊦7行 葉天土⇒葉天土
- 547頁 ㊦17行 qīn⇒qīn
- 549頁 ㊦下から21行 煮こんむ。沸騰した差し⇒煮こむ。沸騰したら差し
- 551頁 ㊦下から12行 シンセンセツショウカンシキカゲンヒャクカイサン⇒シンセンセツショウカンシキカゲンヒャクゲサン
- 552頁 ㊦23行 汲んだに溶かし⇒汲んだ水に溶かし
- 553頁 ㊦下から23行 録>方・生黄蓍 ⇒ 録>の処方では次のように記述している。生黄蓍
- 555頁 ㊦5行 新定苡仁湯⇒新定薏仁湯
- 563頁 ㊦19行 シンリョウソウカイサン⇒シンリョウソウゲサン
- 567頁 ㊦下から15行 服用するしてもよい⇒服用してもよい
- 576頁 ㊦21行 疫喉浅論・ ⇒ <疫喉浅論・
- 578頁 ㊦下から16行 ほっそりの⇒ほっそりと
- 580頁 下から8行 セイカンカイウツ⇒セイカンゲウツ
- 581頁 ㊦下から5行 セイカンジオウガン⇒ショウカンジオウガン。㊦17行 セイカンジオウサン⇒ショウカンジオウサン
- 591頁 ㊦12行 セイサイイン⇒ショウサイイン。㊦下から17行 セイサイカクサン⇒ショウサイイカクサン。㊦下から6行 セイサイサン⇒ショウサイサン
- 599頁 ㊦4行 セイソウカイウツ⇒セイソウゲウツ
- 604頁 ㊦下から13行 セイネツカイウツ⇒セイネツゲウツ
- 651頁 ㊦6行 ソウカイサン⇒ソウゲサン
- 600頁 ㊦下から2行 ②⇒B.
- 601頁 ㊦下から8行 中両医結合治療⇒中西医結合治療
- 602頁 ㊦下から14行 清阳飲⇒清腸飲
- 607頁 ㊦8行 丹皮・大黃。通常は…⇒ 通常は、丹皮・大黃・桃仁…

- 610頁 ㊦11行 屑にが⇒屑が
- 612頁 ㊦下から16行 清熱鎮驚湯⇒清熱鎮驚湯
- 620頁 ㊦下から6行 炙める⇒炙る
- 626頁 ㊦5行 セキコクゴシツトウ⇒セキコクゴシツトウ／セッコクゴシツトウ。14行 セキコクセイイサン⇒セキコクセイイサン／セッコクセイイサン。25行 セキコクヤコウガン⇒セキコクヤコウガン／セッコクヤコウガン
- 629頁 ㊦下から14行 加生姜10片、大棗2枚、⇒ 生姜10片・大棗2枚をくわえ、
- 631頁 ㊦下から20行 覚醒後にはふつきがあり⇒覚醒後にもふらつきがあり
- 633頁 ㊦下から24行 少量をくわえ許、⇒少量をくわえ（許を削除する）、
- 636頁 ㊦下から21行 1貼で洗3～5回使用⇒1貼で3～5回使用
- 640頁 ㊦24行 生姜少許⇒生姜少量
- 641頁 ㊦下から5行 柑桐子大の⇒梧桐子大の。㊦下から4行 あてから⇒あててから
- 643頁 ㊦下から11行 ゼンセイビャクジュツサン⇒ゼンショウビャクジュツサン
- 646頁 ㊦下から2行 証治准繩⇒証治準繩。㊦18行 感受い⇒感受し
- 650頁 ㊦下から11行 食鶏冠⇒鶏冠
- 654頁 ㊦23行 焼かれている⇒焼かれている
- 657頁 ㊦16行 辛甘味⇒苦寒味
- 660頁 ㊦18行 初服の時の⇒初服の時は
- 665頁 ㊦19行 それの⇒それを
- 669頁 ㊦9行 顔に浮腫むがあらわれる時⇒顔に浮腫があらわれた時
- 670頁 左21行 sǎn⇒sǎn
- 672頁 脾胃気鬱の証になり、腹部飽満、腹脹になり、腸鳴があつてやつと便意をもよおすようになる時にもちいる。⇒脾胃気鬱の証にもちいる。症状：腹部飽満、腹脹になり、腸鳴があつてやつと便意をもよおすようになる。（時にもちいるは削除）
- 674頁 ㊦下から8行 そのを⇒それを
- 677頁 ㊦下から16行 「また」を削除する。
- 678頁 ㊦6行 梧相子大⇒梧桐子大
- 693頁 ㊦下から21行 発汗解表・熱除煩の⇒発汗解表・清熱除煩の
- 699頁 ㊦21行 錫（使用していない処方や…処方もある）⇒錫（水銀をあわせて砂粒状にする。使用してない処方もある）
- 702頁 ㊦13行 ひき起こした時に時にもちいる⇒ひき起こした時にもちいる
- 703頁 ㊦下から1行 実際には、外感病には……ものもある。⇒実際の外感病の初期には、表虚・表実の他に、温病\*の初期の証があらわれていることもある。
- 709頁 ㊦6行 去白芷をくわえ、⇒白芷をとりのぞき、
- 711頁 ㊦下から12行 破傷風が⇒破傷風の

- 712頁 ㊦19行 状態になりになり⇒状態になり
- 715頁 ㊦下から20行 三臓が関与するして⇒三臓が関与して。㊦23行 症状があらわれが⇒症状があらわれ、
- 720頁 ㊦24行 2 丑⇒二丑
- 723頁 ㊦下から7行 無石灰⇒石灰
- 732頁 ㊦下から9行 老酒に溶かした鹿角膠4 両に⇒鹿角膠4 両を老酒に溶かし、
- 737頁 ㊦10行 あらわれこと⇒あらわれること
- 740頁 ㊦31行 粉末にした⇒粉末にして。㊦下から18行 卷61 1⇒1を削除する
- 741頁 ㊦下から11行 赤くなったる⇒赤くなる
- 749頁 ㊦14行 陈脾半夏汤⇒陈皮半夏汤
- 751頁 ㊦13行 これと薬末をを⇒これと薬末とを
- 758頁 ㊦4行 開じさせ⇒閉じさせ
- 761頁 ㊦下から21行 ツウカイサン⇒ツウゲサン
- 776頁 ㊦下から20行 下痢がとまった服用⇒下痢がとまたら服用
- 784頁 ㊦下から1行 加灯心⇒灯心をくわえ、
- 788頁 ㊦11行 加灯心⇒灯心をくわえ
- 790頁 ㊦5行 <普济方>卷324方⇒<普济方>卷324の処方では、次のように記述している。
- 795頁 ㊦15行 医学心悟>⇒<医学心悟>
- 801頁 ㊦6行 空腹時に時に熱服する⇒空腹時に熱服する
- 804頁 ㊦下から13行 转石膏丸⇒软石膏丸。㊦下から12行 zhu ǎ n ⇒ru ǎ n
- 806頁 ㊦19行 ニクスコウガン⇒ニクズコウガン
- 810頁 ㊦下から20行 陰陽俱虚でに⇒陰陽俱虚での
- 814頁 ㊦下から5行 ともらない⇒とまらない
- 821頁 ㊦13行 大きさの適量を量を⇒大きさに合わせた量を
- 824頁 ㊦下から11行 zhú yì⇒zhú yè
- 826頁 ㊦下から3行 つぎのあらわした時⇒つぎの症状をあらわした時
- 833頁 ㊦下から18行 胸通⇒胸痛
- 835頁 ㊦7行 鶏子黄1枚…服用する。鶏子黄1枚と薬末とをあわせて服用する。薬末の使用量は鶏子黄1枚と同量にする。
- 839頁 ㊦1行 治脈絡⇒脈絡。
- 840頁 ㊦下から2行 不利⇒下利
- 843頁 ㊦24行 早晚⇒朝晚
- 844頁 ㊦10行 ài⇒mài
- 861頁 ㊦下から17行 煩熱がや⇒煩熱や。㊦下から11行 すでの⇒すでに
- 872頁 ㊦11行 「立効方とも記述している。」の一文を削除する

- 876頁 ㊦下から13行 ヒャクカイサン⇒ヒャクケサン。㊦下から7行 細末にしたものを。⇒「。」  
をはずす。
- 894頁 ㊦下から19行 (腸閉塞) いなり⇒(腸閉塞) になり
- 902頁 ㊦20行 附子理中丸⇒附子温中丸。㊦20行 lǐ⇒wēn
- 911頁 ㊦12行 上がるようような⇒上がるような
- 914頁 ㊦1行 白晴が⇒白晴を
- 926頁 ㊦7行 瘡ができがある⇒瘡ができる。㊦下から18行 入冰片末⇒「入」を削除。㊦下から16行 錢を煎じた⇒「り」を削除
- 934頁 ㊦15行 やわらかくしたものと⇒やわらかくしたものと。㊦18行 症状：……走っている。  
⇒症状：赤褐色の帯や白い縞模様が走っているメノウのような黄白色の翳膜が黒睛の上に  
あらわれる。
- 939頁 ㊦下から9行 株⇒銖
- 945頁 ㊦15行 卷于⇒卷下
- 946頁 ㊦下から21行 粉末にしたものを⇒粉末にしたものに
- 953頁 ㊦下から15行 浄せて⇒浄させて
- 958頁 ㊦下から7行 <傷寒論>方、⇒<傷寒論>の処方では、次のように記述している。
- 960頁 ㊦16行 衝陽結⇒衝陽穴
- 963頁 ㊦7行 炒め、⇒炒める)。
- 964頁 ㊦下から11行 mǐ xī wán ⇒改行する。㊦10行 指の太さ円柱⇒指の太さの円柱状
- 972頁 ㊦下から17行 蘇葉5片。⇒蘇葉5片・
- 979頁 ㊦16行 集驗良方>卷5⇒<集驗良方>卷5
- 980頁 ㊦7行 山薬を各2両川棟子⇒山薬を各2両、川棟子
- 985頁 ㊦下から4行 下肢が冷え⇒下肢に冷え
- 987頁 ㊦24行 なかなか流出口⇒なかなか出口
- 992頁 ㊦下から7行 粉末にしたものを⇒粉末にしたものに
- 993頁 ㊦下から7行 ヨクイチクリョウサン⇒ヨクイチクヨウサン
- 998頁 ㊦下から10行 くわえいっしょに、⇒くわえて
- 1004頁 ㊦下から2行 レイシを⇒レイシの。㊦3行 緑萼梅の効能がある。⇒緑萼梅。
- 1005頁 ㊦下から5行 霍乱転⇒霍乱転筋。㊦8行 重3錢⇒重さ3錢
- 1007頁 ㊦25行 中院停寒⇒中脘停寒
- 1011頁 ㊦1行 承気湯を削除する
- 1018頁 ㊦23行 などのもちいる。⇒などにもちいる。
- 1022頁 ㊦5行 加灯心⇒灯心をくわえ
- 1033頁 ㊦13行 状態においていた時⇒状態に陥った時
- 1036頁 ㊦14行 臟腑積熱で生じる腫毒、時疫よる疔瘡癰、頭面紅腫などがあらわれる時、咽噓

堵塞によって水薬を飲みこめない時などにもちいる。⇒臟腑積熱で生じる腫毒や時疫による疔瘡癰などで、頭面が赤く腫れあがり、咽膈が堵塞になって、水薬を飲みこめない時にもちいる。

1043頁 ㊦5行 伝変などという言葉⇒伝変などという言葉

1046頁 ㊦16行 ワカイトウ才⇒才を削除。㊦17行 解汤⇒和<sub>レ</sub>解汤。㊦下から16行 ワカイヒョウリ才⇒才を削除。㊦下から15行 解表里⇒和<sub>レ</sub>解表里

1048頁 ㊦15行 和活血汤⇒和<sub>レ</sub>佐活血汤。㊦16行 hé huó xuè tāng ⇒hé shāng huó xuè tāng